

平成15年度英語教員指導力向上研修「授業改善プロジェクト」 番号 15058

所属 土佐町立土佐町中学校

氏名 中内 佐穂

R G J H 5

研究テーマ：1、2年生の基本的な内容でつまずいている生徒への手助けをどのようにすればよいか。

1 研究の背景

本校では、生徒一人一人の到達度に合わせた授業を目指し、少人数で授業を行うことで、より教師に質問しやすい雰囲気をつくるために、コース別学習を行っている。対象となる学年はA、B組の2クラスからなっており、それぞれが「標準コース」「基本コース」に分かれている。「基本コース」選択の生徒たちは、英語に苦手意識を持っており、1、2学年段階での内容につまずいている生徒や、授業に集中しにくい生徒である。両クラスとも1学年の初歩的な内容の理解が難しい生徒も数名おり、その生徒への対応が課題である。

2 リサーチクエスチョン

1、2年生の基本的な内容でつまずいている生徒への手助けをどのようにすればよいか。

3 予備調査

(1) 予備調査1 アンケートの結果

5月末のコースに分ける前に、基本コース選択予定の生徒にアンケートをとった。

1「今の一斉授業が分かりやすいと思いますか」 「そう思わない」と答えた生徒50%

2「1、2年生の内容が身につけていっていると思いますか」 「そう思わない」と答えた生徒72%

3 コース別学習に期待することは何ですか。(主な回答)

・1、2年次の基礎をもう一度学習したい。英語を理解したい、覚えたい。理解できていない部分を理解したい。

4 自分自身にどの分野の力があると思うか

・「書く力」「語彙力」がついていないと感じている生徒が71%であった。

(2) 予備調査2 英語力を示すデータ

NRT結果と定期テスト結果の分析から、基本コース選択の生徒たちは「書く力」「言語の知識」「表現」の力がついていないと言える。

4 仮説の設定

仮説1 コース別授業の中で、1、2年次の文法事項の復習の時間をとる。基本的な文法事項が定着すれば、「書く力」も伸びてくるのではないか。

仮説2 仮説1の実施と同時に、未知の「語彙」を増やしていけば、「書く力」につながるのではないか。

5 計画の実践

仮説1より…コース別学習の時間の最初15分程度を利用して、be動詞の疑問文などの1年次の基本的な文法事項について簡単なワークシートを作成し、教師の説明したあと、各自が取り組んだ。その場で採点をした後、まちがったところは直す。簡単な内容であるので、英語に苦手意識を持っている生徒たちも積極的に取り組んだ。全部で7回行い、第3回を終了した時点で確認テストを行った。また、第3回終了時と第7回終了時に同じ質問

内容でアンケートを行った。

仮説2より…コース別学習の最初15分程度を利用して、1年生の教科書のポイント文を課題文にし、最初日本語を聞いてそれを自分たちの力で英文にする。答え合わせをしてから、課題文を20回繰り返して読み、2分間でできるだけたくさん書く。その後、何も見ずに課題文を自分の力で書いてみる、という音読筆写トレーニングを行った。練習した後なので課題文も何も見なくてもスラスラと書けるため、積極的に取り組み、また声を出しての活動にも大きな声で参加することができた。全部で7回行い、第3回、第6回終了時点でそれぞれ確認テストを行った。また、第3回、第7回終了時に同じ質問内容でアンケートを行った。

6 実践の結果と検証

仮説1の実践

確認テストの結果（第3回終了時） A組 4.1点、B組 4.6点 （10点満点中）

アンケートの実施（第3回終了時 第7回終了時）

- 1 「『ここからスタート』は身についていっていると思いますか？」
 - ・「そう思う」または「時々そう思う」と答えた生徒 全体の63% 全体の40%
- 2 どうして1番のように答えましたか？（主な回答）
 - ・だんだんわかってきているから。前より文が書けだしたから。少しだけ身についたような気がするから。
 - ・プリントをやったとしても忘れてしまうから。簡単すぎる内容があるから。確認テストの実施回数が少なく検証する資料としては十分ではないが、「1, 2年次の復習が必要である」と感じている生徒が多い中で、少しでも内容を振り返る時間がとれたことはよかったのではないか。

仮説2の実践

確認テストの結果（第3回終了時 第6回終了時）

A組 5.6点 2.2点 B組 6.0点 5.6点 （10点満点中）

アンケートの実施（第3回終了時 第7回終了時）

- 1 「『音読筆写トレーニング』は身についていっていると思いますか？」
 - ・「そう思う」または「時々そう思う」と答えた生徒 全体の58% 全体の60%
- 2 どうして1番のように答えましたか？（主な回答）
 - ・力がついてきていると思うから。覚えているから。少し読めるようになったから。
 - ・何回も書いて覚えられるから。書けるようになってきているから。
 - ・覚えられないから。次の日には忘れているから。

範囲の少なかった第6回終了時の結果のほうが点数的には悪くなっている。点数結果とは逆に、「身についてきている」と答えた生徒が増え、肯定的な答えが多く聞かれた。

7 成果と今後の課題

その場ではだいたいできてはいても、確認テストになると点数がでないという結果に終わってしまったが、これから3学期に向けて、やったことを定着させる取り組み（家庭学習など）をさせていきたいと思う。確認テストの回数の少なさや、生徒への意識付けの弱さなどから十分なアクションリサーチができたとは言えないが、自分が取り組んできたことをまとめることで、次の課題が見えてきたことはよかったと思う。また、授業に出ない

生徒や長期欠席の生徒への手立てが十分ではなかった。

参考文献：全英連高知大会(2001)アクションリサーチ報告集 / 佐野正之(2000)アクションリサーチのすすめ